

指導と評価の年間計画（シラバス）

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	4	第1学年	VividⅠ「第一学習社」 コーパス1800「東京書籍」

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

*英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。

- ア. エッセイや論説、物語を読んで、主な情報や要点、筆者の考え方や意見、内容の文化的な背景や社会的な背景などをとらえる。英語の語彙力・表現力を高めると同時に、英文の組み立て方を学び、メッセージの概要をつかむように努める。
- イ. 事物や出来事に関する紹介や対話などを聞いて、主だった情報や考えの概要をとらえるように努める。
- ウ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだり経験したりしたことについて、英語表現の基礎的なルールに従って、簡潔な英語で書こうと努める。その目標を達成するためにも、英語の語順や文法ルールの基本をきっちりと習得する。
- エ. 聞いたり読んだりしたこと、学んだり経験したりしたことについて、簡潔な英語で積極的に表現しようと努める。ネイティブ・スピーカーとのチーム・ティーチングを通して、出来るだけ多くの有益な会話表現を吸収し、日常的に発話してみようと心がける。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の4技能の到達目標）

【第1学年】履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（4単位）

主な教材：上記科目の教科書および単語帳の副教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
・聞いたり読んだりしたこと、学んだり経験したりしたことについて、簡潔な英語で積極的に表現できるようになること。	コミュニケーション英Ⅰ 音読テスト ショート・スピーチ ペアワーク	・聞いたり読んだりしたこと、学んだり経験したりしたことについて、英語表現の基礎的なルールに従って、簡潔な英語で書くことができるようになること。	コミュニケーション英Ⅰ ライティングテスト 定期考査	・事物や出来事に関する紹介や対話などを聞いて、主だった情報や考えの概要をとらえることができるようになること。	コミュニケーション英Ⅰ リスニングテスト 定期考査	・エッセイや論説、物語を読んで、主な情報や要点、筆者の考え方や意見、内容の文化的な背景や社会的な背景などをとらえることができるようになること。	コミュニケーション英Ⅰ リーディングテスト 音読テスト 語彙力テスト 定期考査

3 学習評価（評価の観点と実施方法）

観点	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての 知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。				

4 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 1 (11 時間)	・日本でのオリンピックの歴史や、古代オリンピックと近代オリンピックの違いについて	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・聞いた日本語を英語で表現できるか、ペア・ワークを通して練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動を T.T. で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文中で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・オリンピックの成功のために、生徒自身ができることについて自ら考えさせる	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・現在・過去、助動詞 (can, may, must), 未来 (will, be going to) を理解し、文を作ることができる。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 2 (11 時間)	・名前の重要性和名前のもつ意味について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・聞いた日本語を英語で表現できるか、ペア・ワークを通して練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動を T.T. で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文中で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・登場人物や、同級生の名前の由来について、自ら考えさせる	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・進行形(現在・過去), 不定詞の 3 用法, S + V + O (=that-節) を理解し、文を作ることができる	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 3 (11 時間)	・日本のストーリーファッションと海外での反応について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・聞いた日本語を英語で表現できるか、ペア・ワークを通して練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・自国の情報を海外に発信することの意義について考えさせる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・動名詞、現在完了形、受け身(現在・過去)を理解し、文を作ることができる。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 4 (11 時間)	・エネルギー発電の問題点と速水浩平さんが提案する発電方法について	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・聞いた日本語を英語で表現できるか、ペア・ワークを通して練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・従来の発電方法の利点や欠点、速水さんの発電方法がどう優れているのかを自ら考えさせる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・比較, S+V+O+to-不定詞, 疑問詞+to-不定詞を理解し、文を作ることができる。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 5 (11 時間)	・笑いが健康に 好影響をもたら すことにつ いて読み取ら せる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおい て、互いに協力しな がら会話を続ける。	・聞いた日本語を英語で 表現できるか、ペア・ ワークを通して練習す る。	・ペア・ワークにおい て、互いに協力して 会話を続けている。	・ペアでの言語活動を T.T. で観察する。 ・授業時間の中で音読 テストや短いスピー ーチ発表の場を設 ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語 表現を用いて、日常 的な事象についても 表現できるように応 用する。	・本文で用いられている 英語表現を習得する。 ・新出単語や表現につ いては、発音の仕方もし っかりと確認する。	・本文で学んだ英語表 現を記憶にとどめ、 応用して使用でき ようになる。	・定期考査はもとよ り、小テスト、予習 点検、単語や英語表 現の暗唱テスト等 をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられてい る出来事や人物の背 景を確認しながら、 興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウ トラインを把握し、語 彙や表現の推測と確 認、そしてメッセージ の深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文 の判断を通して、本 文のメッセージが 正しく把握できて いるかを確認する。	・定期考査の中で、本 文の内容の理解度 を問うような形で 実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		笑いの効用について、 自ら考えさせる。	・本文中で用いられてい る意味や用法を確認す る。	・現在分詞、過去分詞、 関係代名詞(主格) を理解し、文を作る ことができる。	・定期考査において、 言語の使用場面や 働きの知識が身に 付いているかを判 断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 6 (11 時間)	・アンジェラア キさんの夢に 向かって生き る姿や、若者 に送るメッセ ージを読み取 らせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおい て、互いに協力しな がら会話を続ける。	・聞いた日本語を英語で 表現できるか、ペア・ ワークを通して練習す る。	・ペア・ワークにおい て、互いに協力して 会話を続けている。	・ペアでの言語活動を T.T. で観察する。 ・授業時間の中で音読 テストや短いスピー ーチ発表の場を設 ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語 表現を用いて、日常 的な事象についても 表現できるように応 用する。	・本文で用いられている 英語表現を習得する。 ・新出単語や表現につ いては、発音の仕方もし っかりと確認する。	・本文で学んだ英語表 現を記憶にとどめ、 応用して使用でき ようになる。	・定期考査はもとよ り、小テスト、予習 点検、単語や英語表 現の暗唱テスト等 をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられてい る出来事や人物の背 景を確認しながら、 興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウ トラインを把握し、語 彙や表現の推測と確 認、そしてメッセージ の深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文 の判断を通して、本 文のメッセージが 正しく把握できて いるかを確認する。	・定期考査の中で、本 文の内容の理解度 を問うような形で 実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・アンジェラさんのメ ッセージを受けて、 自分の人生設計を考 えさせる。	・本文中で用いられてい る意味や用法を確認す る。	・関係代名詞(目的 格), It is … (for A) to ～, 過去完了 形, 関係代名詞 what を理解し、文を作る ことができる。	・定期考査において、 言語の使用場面や 働きの知識が身に 付いているかを判 断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 7 (11 時間)	・フードマイルの意味とフードマイル運動の問題点を読み取らせる	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・聞いた日本語を英語で表現できるか、ペア・ワークを通して練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・フードマイル運動の長所と短所について自ら考えさせる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・S+V(=be-動詞)+C(=that-節), 現在完了進行形, S+V+O(=疑問詞節), It is+形容詞+that-節を理解し, 文を作ることができる。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 8 (11 時間)	・スフィンクスに影響を及ぼしている塩害や、その原因や現状について読み取らせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・聞いた日本語を英語で表現できるか、ペア・ワークを通して練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動をT.T.で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる。	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・人間社会の発展が自然環境に影響を与えていることについて自ら考えさせる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・関係副詞(where, when, why, how), S+V+O+O(=that-節), S+V+O+O(=疑問詞節)を理解し, 文を作ることができる。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson 9 (11 時間)	・テイラー・アンダーソンさんの人生について読み取らせる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続ける。	・聞いた日本語を英語で表現できるか、ペア・ワークを通して練習する。	・ペア・ワークにおいて、互いに協力して会話を続けている。	・ペアでの言語活動を T.T. で観察する。 ・授業時間の中で音読テストや短いスピーチ発表の場を設ける。
		「外国語表現の能力」			
		・本文に出てくる英語表現を用いて、日常的な事象についても表現できるように応用する。	・本文で用いられている英語表現を習得する。 ・新出単語や表現については、発音の仕方もしっかりと確認する。	・本文で学んだ英語表現を記憶にとどめ、応用して使用できるようになる	・定期考査はもとより、小テスト、予習点検、単語や英語表現の暗唱テスト等をこまめに実施。
		「外国語理解の能力」			
		・本文で用いられている出来事や人物の背景を確認しながら、興味・関心を促す。	・英問英答を通してアウトラインを把握し、語彙や表現の推測と確認、そしてメッセージの深読みへと進める。	・内容真偽を問う英文の判断を通して、本文のメッセージが正しく把握できているかを確認する。	・定期考査の中で、本文の内容の理解度を問うような形で実施する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・テイラーさんの生き様に学び、自分ならばどのような点で社会に貢献できるかを考えさせる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・It is --- that の強調構文、原形不定詞、知覚動詞 + O~ing の構文を理解し、文を作ることができる。	・定期考査において、言語の使用場面や働きの知識が身に付いているかを判断する。